



データあり

令和5年6月30日

市政記者クラブ 様

東山総合公園
植物園 下総・近藤
電話 782-2111

東海三県初！世界で最も大きな花の一つ ショクダイオオコンニャクが開花の兆しを見せています

記

東山動植物園において栽培している「ショクダイオオコンニャク（スマトラオオコンニャク）」が開花する見込みとなりました。世界最大級の花と言われるインドネシア・スマトラ島固有の植物です。めったに咲かない植物で、東海三県での開花は初めてとなりますので、是非、取材していただきますようお願いいたします。

1 開花予想

令和5年7月5日（水）～11日（火）（予定）

※開花は前後する場合があります。

2 今後の開花情報

- ・開花状況については、東山動植物園公式 Twitter で随時お知らせいたします。
- ・通常は夕方から開花が始まり、開花日を含めて2～3日間が花の見ごろとなります。

3 展示場所

植物園温室後館サガロ温室（位置図参照）

4 開花時の観覧

開花の翌日から2日間は、サガロ温室の入口は東側からのみとなります。観覧時間は温室の観覧時間同様、9時から16時45分までです（入園は16時30分まで）。

※混雑状況によって、観覧時間に制限を設ける場合や観覧終了時間より前に受付を終了する場合がございます。

5 休園日の観覧

休園日である7月10日（月）に開花している場合は、9時00分から16時45分までの間、植物園門からショクダイオオコンニャクのあるサガロ温室のみ開放します（入園は16時30分まで）。

※駐車場については植物園東駐車場のみ利用可能です。

※開園日同様、混雑状況によって、観覧時間に制限を設ける場合や観覧終了時間より前に受付を終了する場合がございます。

6 開花の始まりの取材

開花が始まる状況の取材をご希望の場合は、事前にご連絡ください。時間を区切って取材を受け付けます。

※開花の兆候が始まってからの直前の連絡となりますので、ご了承ください。

【シヨクダイオオコンニャク（スマトラオオコンニャク）について】

- ・学名：*Amorphophallus titanum*
- ・英名：Titan arum
- ・形態等：インドネシア・スマトラ島の熱帯雨林に自生する、サトイモ科コンニャク属の希少植物です（絶滅危惧種：国際自然保護連合（IUCN）レッドリストにおいてEN（危機）に分類）。

大きなものは約3m、小ぶりなものでも1m以上の高さになる、世界最大級の花を咲かせる植物として知られています。その名の通り、燭台（しょくだい）のような花を数年に1度咲かせるといわれており、その花は開花してから2～3日しか持ちません。花は肉が腐ったような強烈な悪臭を放ち、その匂いで虫を呼び寄せます。



令和5年6月28日撮影
（撮影時の高さ100cm）

【位置図】

